



# 新城市における節電所の取り組み

愛知県新城市

2015.10.31

# 新城市の概要



ササユリ



ヤマザクラ



モリアオガエル



コノハズク



松脂岩



面積	499.23km <sup>2</sup>
人口 (H26.4.1)	49,475人
世帯数 (H26.4.1)	17,279世帯
最高	53.5m (本庁)
	70.0m (鳳来)
	530.0m (作手)
年間日照時間 (2013年)	2,308.8時間
森林面積	83.5%



<http://www.city.shinshiro.lg.jp>

2015.10.31

# 緑 豊かなまちです

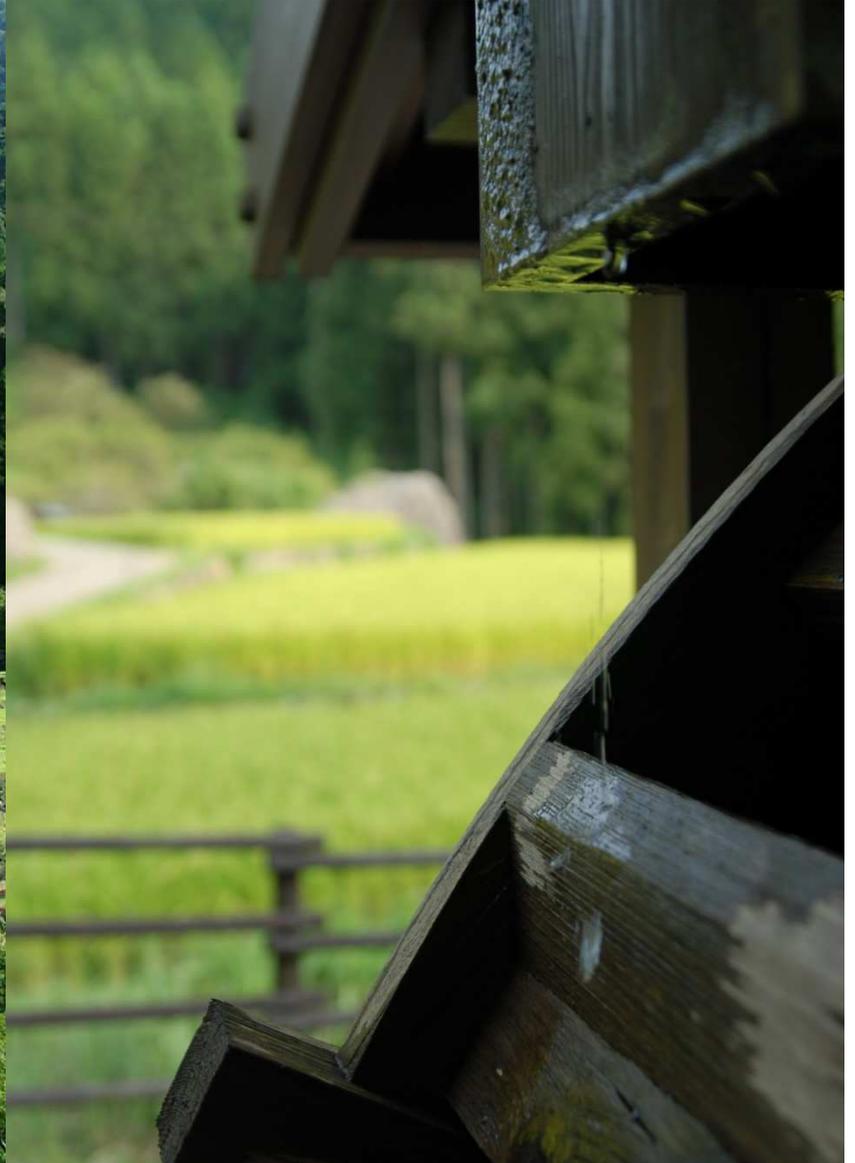


<http://www.city.shinshiro.lg.jp>

2015.10.31

棚田のある風景

# 四谷・千枚田





〈対談〉

さくらとあんのものがたり

映画と小説の舞台から

ドリアン助川(作家・朗読家) × 河瀬直美(映画監督)

新城を原作の舞台の一部として描かれた小説「あん」。4月2日(休)に新城文化会館で「全国さくらシンポジウムin奥三河」が開催され、原作のドリアン助川さんと監督の河瀬直美さんによる記念講演が行われました。さくらの持つさまざまな力や「人々をつなぐ、地域をつなぐ」新城への想い、魅力などを語る熱い対談となりました。



© 映画「あん」製作委員会 /Comme des Cinémas/ Twenty Twenty Vision

全国公開

5/30  
土曜日

第68回カンヌ国際映画祭 正式出品  
日・仏・独合作

## 監督:河瀬直美



映画作家。奈良市生まれ。

大阪写真(現ビジュアルアーツ)専門学校映画学科卒業。映画表現の原点となったドキュメンタリー『につつまれて』(92)、『かたつもり』(94)で、1995年山形国際ドキュメンタリー映画祭国際批評家連盟賞などを受賞。1997年初の劇場映画『萌の朱雀』(97)でカンヌ国際映画祭カメラドール(新人監督賞)を史上最年少受賞し、鮮烈なデビューを果たす。その後、『火(ほ)垂(たる)』(00)、『沙羅(しゃら)双樹(そうじゆ)』(03)、『垂乳女/Tarachime』(06)などで、映画祭の受賞を重ねる。2007年『穢(もがり)の森』でカンヌ国際

映画祭でグランプリを受賞。2009年カンヌ国際映画祭に貢献した監督に贈られる「黄金の馬車賞」を受賞。2011年『玄北-げんぺん-』(11)で、第58回スペイン・サンセバスチャン国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞。

2013年カンヌでは、日本人監督として初めて審査委員を務めた。2010年から隔年で開催される「なら国際映画祭」では、エグゼクティブディレクターとして奔走する。

LINEで見る | Facebook | Twitter

やりに残したことは、ありませんか？

5月30日(土)全国公開

新着情報  
5月15日 カヌ国際映画祭出品!!  
4月24日 第68回カンヌ国際映画祭「ある男」部門 オープニングフィルム正式出品決定!!  
4月17日 映画『あん』公開記念トークショー 4/18(土)開催の模様は  
4月13日 新垣結衣×映画『あん』WAGASHI〜和菓子老師 若き匠たちの挑戦〜! タイアップキャンペーン!!

mibon  
Coca-Cola  
Wine & Beer & Soft Drink  
映画と音楽のプロジェクト  
MUSICMAKER  
全国でもっともおいしい映画祭の音楽(映画祭限定)

【公式アカウント】  
Facebook | Twitter

## 原作:ドリアン助川

東京都生まれ、神戸育ち。

早稲田大学時代に劇団を主宰し、卒業後は雑誌ライター、放送作家などを経て、ドリアン助川の名で「叫ぶ詩人の会」を結成。ドリアン助川名義以外でも、執筆やライブ活動など精力的に芸能活動を継続。ニッポン放送系列の深夜ラジオ番組「ドリアン助川の正義のラジオ! ジャンベルジャン!」が若者の人気を集め、若者に向けて真摯で辛辣なコメントを投じることから当時出演していたTV番組の名前通り「金鑿先生」とも言われていた時期がある。映画では河瀬直美監督の『朱花(はなづ)の月』(11)に出演経験がある。



<http://www.city.shinshiro.lg.jp>



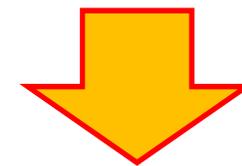
## 東日本大震災 それに起因する原発事故

⇒ **電力使用制限令 発動!** 【計画停電】

東京・東北電力管内全区域において 15%の節電



我々も何かしなくては



エネルギー対策本部の  
設置



# 取り組みのきっかけ



愛知県内で一番「浜岡原子力発電所」に近い自治体



# エネルギー対策本部の設置により…



## 《エネルギー対策本部の設置》

3.11によりエネルギー問題の重要性を認識 ⇒ 組織マネジメントの一環

H23.6～H24.3 [3,543,631円削減]

- ・ 使用量削減分〔省エネ行動〕 1,676,877円
- ・ 事業者変更(PPSへ)分 1,866,754円

⇒朝残業の徹底、勤務シフト（昼食時間）、照明の削減

H24.6～H25.3 [405,947円削減]

- ・ 使用量削減分〔省エネ行動〕 208,520円
- ・ 事業者変更分 197,427円



# 新 城 市 民 節 電 所

千郷中 美術部

- 職員提案制度
- 職員研修
- 事務事業への環境視点

市役所の  
率先行動

新城市地球温暖化防止実行計画（第2次計画）：事務事業編

## ピークシフト

- 勤務時間でエコ
- 残業時間を朝チャレで実施

## 第1号 新城市役所

【目標】  
夏期電力使用量を  
前年比15%オフ

## ピークカット

- 照明でエコ  
LED化、本数削減
- 電化製品でエコ  
不要な電化製品の撤去  
省エネモードの設定  
コンセントオフの徹底
- 空調機でエコ  
稼働時間の短縮化  
クールビズの徹底
- 断熱でエコ  
窓の外で断熱

実行計画  
区域施策編との有機的連携

一般家庭



省エネチャレンジ  
→インセンティブを付与

- ・ いいじゃん券
- ・ 地産地消商品詰め合わせ
- ・ フェアトレード商品詰め合わせ

## 新城市民節電所

→節電状況を従業員(市民)がチェック

事業所



省エネ連絡協議会  
→共通で取り組める課題などの  
情報交換

学校



省エネチャレンジ学校版  
→インセンティブを付与

## 市民節電所第1号（市役所）としての取り組み

時期		設定期間	目標値（H23～H26夏季までは平成22年度比）	削減実績値	夏季・冬季実績
平成23年度	夏季	6月～10月	電力使用量15%削減	25.2%	20.3%
	冬季	11月～3月	電力使用量10%削減	15.2%	
平成24年度	夏季	6月～9月	電力使用量20%削減	24.2%	18.0%
	冬季	11月～3月	電力使用量10%削減	12.7%	
平成25年度	夏季	6月～9月	電力使用量20%削減	22.4%	18.2%
	冬季	12月～3月	電力使用量10%削減	13.7%	
平成26年度	夏季	6月～9月	電力使用量20%削減	25.6%	19.8%
	冬季	12月～3月	昨年冬季を上回らない	15.6%	

※平成26年度冬季は比較しやすいように平成22年度冬季比の表示としています。



## 市における環境の位置づけ

### ●総合計画

- ア 環境負荷の低減と循環型社会の構築 ～エコオフィス～
- イ 環境の保全と共生への取り組み ～エコアクション～
- ウ 環境育成型市民自治社会の実現 ～エコガバナンス～
- エ 環境・経済・社会をバランスよく成立させた持続可能な社会の構築 ～エコイノベーション～



### ●地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

### ●市長マニフェスト

新城を良くする3本の矢 ～自然エネルギーの積極的な開発と利用を進めるまち～  
 ⇒市独自の「グリーンエネルギー機構」を創設し、災害時の緊急電源確保と地元地域への利益還元を柱に資源自治を推進する旨が明記された。  
 ⇒所信表明において「自然エネルギーの積極的な開発と利用を進めるまちを目指す」ことを挙げ、小水力や太陽光など再生可能エネルギーの全市域での開発システムを立ち上げ、災害時の緊急電源の確保と地域への利益還元を柱に、構想を具体化していくことが明言された。

- 新城市省エネルギー及び再生可能エネルギー推進条例
- 再生可能エネルギー導入の促進に関する基本的な方針

## 新市庁舎 (市民節電所第1号)

ネガワット



ポジワット

## ～ エネルギーを省く ～ 市民節電所プロジェクト

### ＜補助制度＞

- ①太陽熱利用システム設置費補助  
10,000円/㎡×5㎡×24件
- ②耐震改修時省エネ改修補助金  
200,000円×15件
- ③住宅用燃料電池システム設置費補助金  
50,000円×5件
- ④EV、PHV購入費補助金  
70,000円×5件

### ＜取り組み（ハード事業）＞

- ④省エネルギー施設(LED防犯灯等)整備  
一括発注・リース方式等の検討
- ⑤地域間伐材を利用した環境保全型農業の推進
- ⑥簡易型水力発電機の貸し出し



### ＜取り組み（ソフト事業）＞

- ⑦うちエコ診断の実施【気付く・考える】  
・うちエコ診断員等の育成
- ⑧省エネ・創エネ相談コーナー【行動する】  
・エコイベント開催時を想定  
⇒市内電気事業者等と連携の可能性
- ⑨緑のカーテンコンテストの開催
- ⑩中部環境先進5市エコプロダクツPJの推進
- ⑪省エネ・省CO<sub>2</sub>住宅の促進
- ⑫自動車用充電設備の整備 ほか



### ～ エネルギーを蓄える ～

## 蓄電所プロジェクト

⑩防災拠点・避難所への蓄電施設設置検討

## ～ エネルギーを創る ～ 市民発電所プロジェクト

### ＜補助制度＞

- ①太陽光発電システム設置費補助金  
12,000円/kW×4kW×80件
- ②集会所等太陽光発電システム、蓄電池導入促進費補助事業  
【太陽光】100,000円/kW×4kW×4件  
【蓄電池】500,000円/台×2件  
※蓄電池補助については日照条件や構造上の問題で太陽光発電設備が設置できない場合  
※国の補助対象として指定されたシステムのみ



### ＜取り組み（ソフト事業）＞

- ⑤ プレーヤーづくり
  - A 先進事例に学ぶ（調整中）
    - ・自治会等による発電事業取組事例の勉強会（上田市民エネルギーなど）
    - ・小水力専門家による現地踏査および勉強会
    - ・地球温暖化防止&再生可能エネルギーに関する勉強会
  - B 地域を知る
    - ・小水力発電可能性調査現地確認
    - ・先進事例調査  
中部環境先進5市サミット in 根羽

### ⑥ 情報発信・共有

- ・Facebookによる発信
- ・金融機関における情報共有・発信  
太陽光発電設備等に対する貸付制度
- ・税に関する情報共有・発信  
太陽光発電設備等設置に係る課税情報の確認

### ⑦ コミュニケーション

- ・再生可能エネルギー普及促進会議の設置

### ＜その他＞

- ⑧ 地域コミュニティを活かした地域分散型電源への取り組み
  - A 地域おこし協力隊員の雇用
  - B 見代発電所及び他所における小水力発電に関するモデル地区化
  - C 地域自治体制度など地域コミュニティを活かした事業展開
- ⑨ 賦存量調査
  - ・GPP申請



2015.10.31

# 市民節電所プロジェクト



太陽熱利用

・ 1万円/m<sup>2</sup> × 上限5m<sup>2</sup>

耐震改修時  
省エネ改修補助

・ 上限20万円

家庭用燃料電池  
システム補助

・ 5万円/件

EV・PHV購入費補助

・ 7万円/件

環境保全型農業

・ 地域間伐材を活用し、燃料費の削減



# 取り組み事例の紹介



## 家庭エコ診断制度

### ◇うちエコ診断〔家庭向け〕

「うちエコ診断士」が環境省の「うちエコ診断ソフト」を用いて行う診断。  
「うちエコ診断士」が受診家庭とのコミュニケーションを通じて、家庭のエネルギー対策・地球温暖化対策を診断し、ご家庭に合わせたオーダーメイドの対策を提案する。

◎うちエコ診断士：職員で3名の資格者  
⇒ うちエコ診断実施機関として登録  
〔エコイベント時、希望者、省エネ改修時（必須）〕

うちエコ診断実施機関一覧（平成27年10月14日現在 73機関）

都道府県	診断窓口名称 診断実施機関 企業・団体名	診断窓口所在地 診断実施機関所在地	診断窓口連絡先 診断実施機関連絡先	診断実施機関認定期間
愛知県	愛知県うちエコ診断実施機関	愛知県名古屋市中区東桜2-4-1	052-934-7295	平成26年5月16日～平成29年3月31日
	一般社団法人環境創造研究センター	同上	同上	
	新城市	愛知県新城市字東入船6-1	0536-23-7690	平成26年6月13日～平成29年3月31日
	愛知県新城市	同上	同上	



# 今後の取り組み予定



## ◇エネルギーパスなど〔設計士、大工、工務店向け〕

エネルギーパスとは、ISO基準に基づいて計算された、家の燃費性能を表示する『証明書』。EU全土では2008年より、エネルギーパスの表示が義務化された。光熱費や水道代だけではわからない、その家の「燃費」を定量的に示すことにより、性能の高低が一目でわかる。（同協会のHPから引用）

◎今年度 ⇒ 地域おこし協力隊員に資格認定講習会を受講させた

来年度 ⇒ 省エネ性能の向上に向け、市内事業者とともに仕組みづくり

## ◇そのほかにも

- ・ 農業における低エネルギー化の可能性実験
- ・ 薪ストーブ等の可能性調査（市内事業者 有り） ほか

### ★中部環境先進5市

TASKI連携〔多治見市、安城市、新城市、掛川市、飯田市〕による可能性



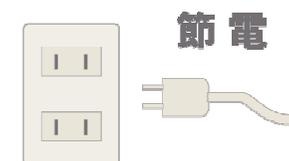
# 企業さんとのコラボ



## ◇年末年始コンセントオフ運動

市内の事業所・団体等を対象に、仕事納め（もしくは年内最終の出勤日）の退社時に、コンセントから電源プラグを抜いて支障のない機器（パソコン、プリンタ、コピー機、シュレッダー、テレビなど）の電源プラグをコンセントから抜いてもらい、仕事始め（もしくは年明け最初の出勤日）までの間に削減できた待機電力から排出抑制された二酸化炭素量を把握（算出）してもらおう取り組み。

項目	市内8事業所分	市役所分	市内合計	市外6事業所分
節約した電力量	536.7 kWh	333.9 kWh	870.6 kWh	116.0 kWh
削減した二酸化炭素量	275.3 kg-CO <sub>2</sub>	171.3 kg-CO <sub>2</sub>	446.6 kg-CO <sub>2</sub>	59.5 kg-CO <sub>2</sub>
電気代に換算した節約額	11,099 円	6,905 円	18,004 円	2,399 円
ガソリン換算量	118 リットル	74 リットル	192 リットル	26 リットル



※参加事業所7社のうち2社においては、市外の拠点（6事業所）での取り組みも行っていました。

年末年始だけで2リットルのペットボトル120,582本分のCO<sub>2</sub>を削減

自宅の取り組み



勤務先での取り組み



# 市民発電所 & 蓄電所プロジェクト



## 公共施設の屋根貸し

- ・ 第1期 15施設 860kW〔非常用電源確保〕
- ・ 第2期 提案事業者の審査中

## グリーンニューディール

- ・ 平成27年度設計、28年度工事  
15kW : 15kWh & 20kW : 15kWh

## 公民館・集会所

- ・ 太陽光補助 10万円/kW×上限4kW
- ・ 蓄電池補助 太陽光が不可の場合は上限50万円

## グリーンプラン パートナーシップ事業

- ・ 小水力のFS調査（遺構調査 + aからの発展）
- ・ 木質バイオマスに係る利用可能量調査

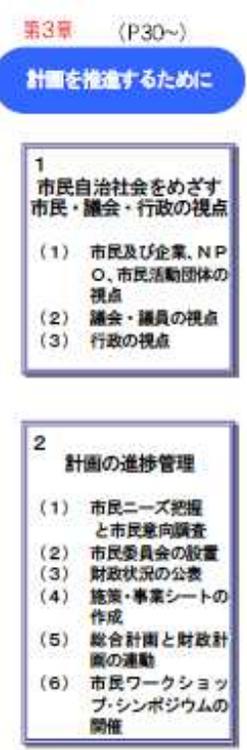
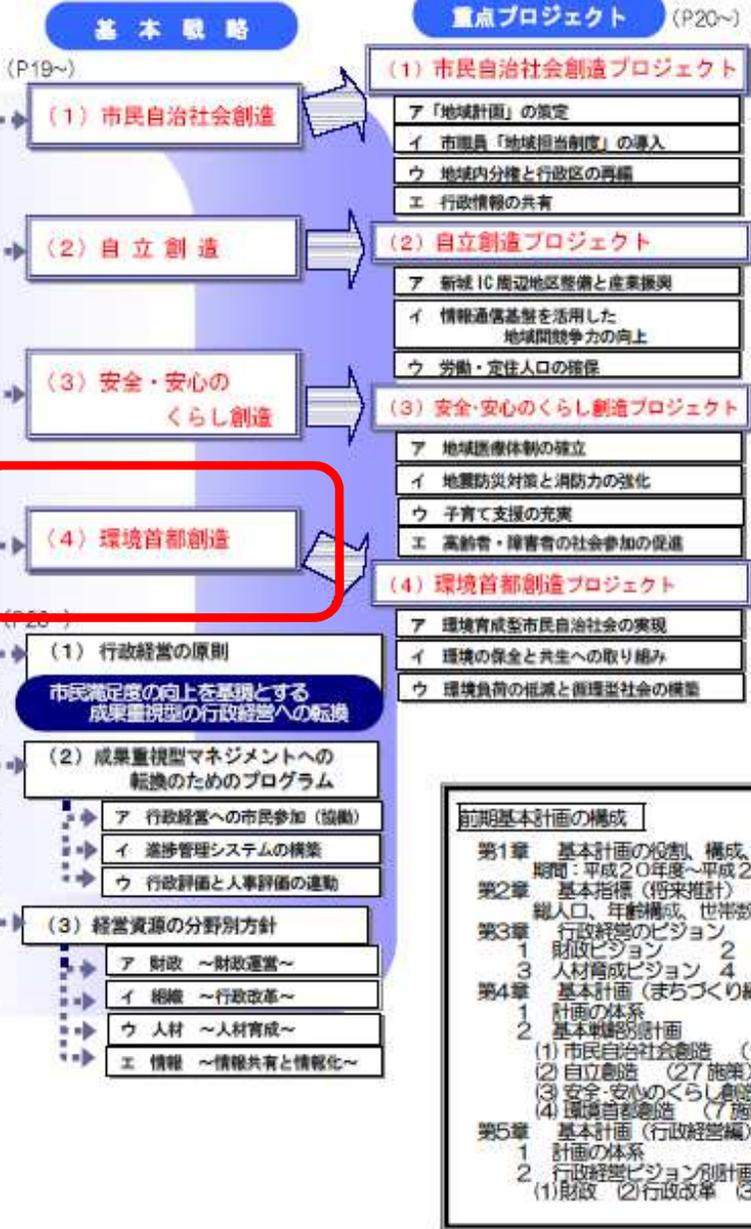
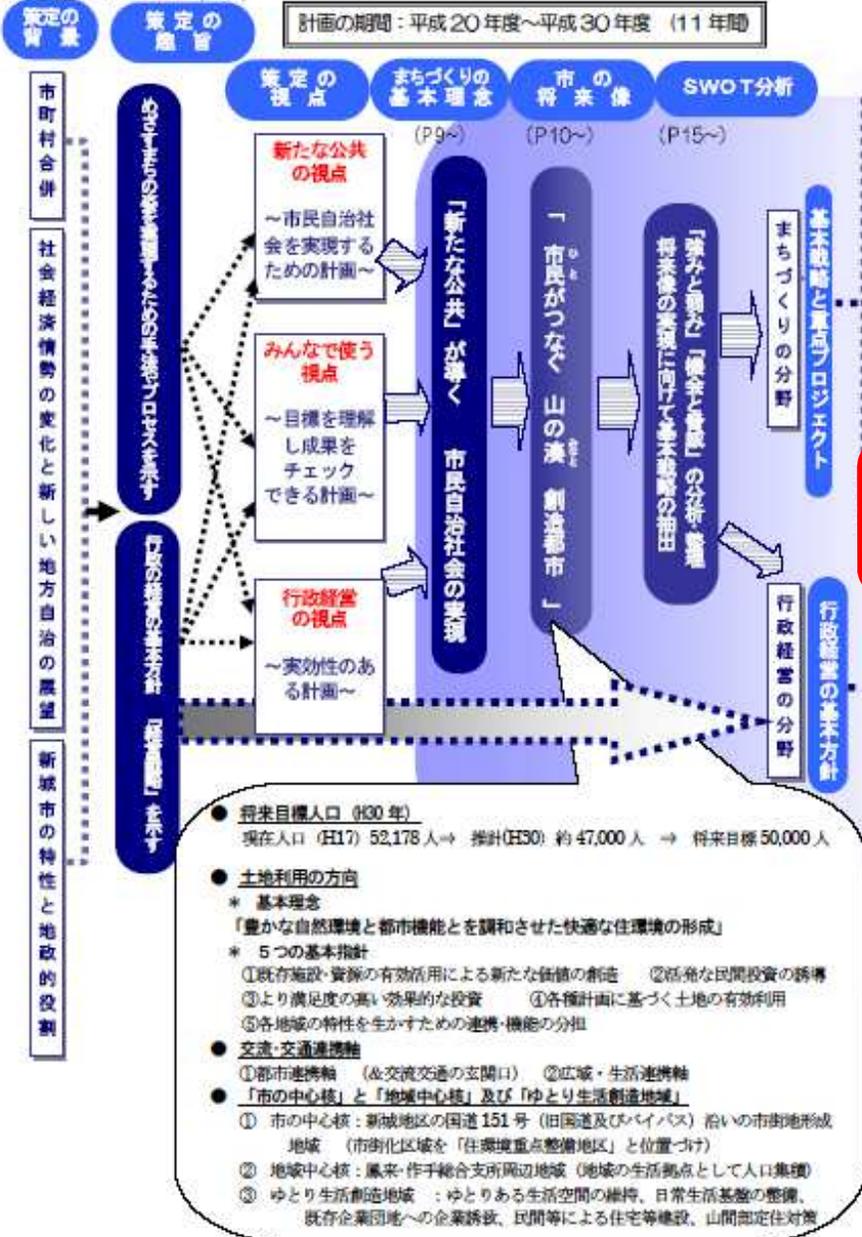
## 個人住宅に対する 補助

- ・ 太陽光補助 1万2千円/kW×上限4kW



# 第1次新城市総合計画（山の湊しんしろ経営戦略プラン）構成図

第1章 (P1~) 第2章 (P6~)



前期基本計画の構成

第1章 基本計画の役割、構成、期間  
期間：平成20年度～平成22年度（3年間）

第2章 基本指標（将来推計）  
総人口、年齢構成、世帯数、地域別人口、産業構造

第3章 行政経営のビジョン  
1 財政ビジョン 2 行政改革ビジョン  
3 人材育成ビジョン 4 情報ビジョン

第4章 基本計画（まちづくり編）  
1 計画の体系  
2 基本戦略別計画  
(1) 市民自治社会創造（12施策）  
(2) 自立創造（27施策）  
(3) 安全・安心の暮らし創造（16施策）  
(4) 環境首都創造（7施策）

第5章 基本計画（行政経営編）  
1 計画の体系  
2 行政経営ビジョン別計画  
(1) 財政 (2) 行政改革 (3) 人材育成 (4) 情報





## 市民自治社会創造プロジェクト

- 地域計画の策定
- 市職員「地域担当制度」の導入 ほか



## 自立創造プロジェクト

- 新城IC周辺地区整備と産業振興
- 情報通信基盤を活用した地域間競争力の向上 ほか



## 安全・安心の暮らし創造プロジェクト

- 地域医療体制の確立
- 地震防災対策と消防力の向上 ほか



## 環境首都創造プロジェクト

- 環境育成型市民自治社会の実現
- 環境負荷の低減と循環型社会の構築 ほか





## 新城を良くする3本の矢 —3つの重点政策でこんなまち—

### 1 地域産業を強くして暮らしを立てられるまち

商工業、建設業、農林業、観光業、金融業、医療・福祉事業を担う地元事業所の力を強め、雇用を生み、地域でお金がまわる仕組みを本腰でつくります。「地域産業総合振興条例」を制定します。

### 2 住宅開発と住環境改善で住みやすいまち

土地利用を時代に合わせ、すべての世代にとって住みやすい「住環境整備計画」を策定。耐震改修・高性能住宅改修も加速させます。

### 3 自然エネルギーの積極的な開発と利用を進めるまち

市独自の「グリーンエネルギー機構」を創設。災害時の緊急電源確保と地元地域への利益還元を柱に資源自治を実現します。





ご清聴

ありがとうございました

✓ Address 愛知県新城市字東入船6番地1

✓ Phone 0536 23-7690

✓ E-mail [e-seisaku@city.shinshiro.lg.jp](mailto:e-seisaku@city.shinshiro.lg.jp)